

くどきおどり 川東町八月口説踊保存会



Contents 目次

- 4 **特集** Special Feature
緑の下からまちを支える
- 10 **Hot News**
- 12 まちのおしごと「大海酒造(株)」
- 14 畜産環境対策
- 16 世界とつながる
- 18 **インフォメーション**
Information
- 22 放課後は **別** の顔 / タイム トラベル
- 23 **の**かけ橋 「安楽 宮子 さん」
- 24 読者のひろば
- 25 **カノヤトリセツ**
- 26 **健康** らいふ
- 27 広告のひろば
- 28 プレゼント / MOVIEでかのや / 映画情報



「伝統の舞」を 次の世代へ伝え守るため

「川東町八月口説踊保存会」は、五穀豊穡を祈る市無形民俗文化財「八月口説踊り」の保存を目的に活動しています。歴史ある八月口説踊りを、自分たちの代で途絶えさせざるわけにはいかないという強い想いで日々練習に励んでいます。

「川東町八月口説踊保存会」は約300年前の藩政時代から伝わる「八月口説踊り」を後世に残すために、現在メンバー22人で活動しています。八月口説踊りは過去に何度か途絶えていた時期もありましたが、町内で復活を希望する声があったことがきっかけで平成29年に保存会を再結成。毎年旧暦の8月28日に王子町の和田井堰水神に奉納後、町内の水神を巡り感謝や安全への願いを込めて舞を行っています。当時の資料や音源を録音したテープを基に譜面を作り、楽器や踊りの練習を行っていますが、本来12曲あった曲数は現在3曲しか継承されていません。そのため今後は後継者を確保しつつ残りの曲も復活させて、歴史ある八月口説踊りを後世に残せるように活動していきたいと思っています。

川東町八月口説踊保存会
川添 みや子 代表

愛知県名古屋市出身。肝付町の友人を訪ねて鹿児島県を訪れた際に、大隅半島の自然に魅力を感じ、友人に大隅の人を紹介してくれないかと相談。その後、紹介された人と結婚し鹿屋市に移住することに。



川東町公民館で練習に励む様子。例年6月頃から本番へ向けて、毎週土曜日に2時間程度練習を行います。今年は10月12日(木)に町内の水神を巡りながら舞を披露する予定で、楽器や踊りの練習に汗を流しています。

今月の表紙

田園に咲くカンナの花

稲がいよいよ色づき始めた9月初旬。茎の上部が黄色くなり、稲穂が垂れ下がってきています。高隈山を望む景色の美しい川東町の県道下高隈川東線付近では、田園が辺りいっぱいに広がっています。その中で一際目を引くのはカンナの花。背丈が2mほどに成長したカンナは、花も葉も大ぶりで周囲にトロピカルな雰囲気をもたらしています。



統計情報 令和5年8月1日現在 (前月比)

- ・人口 / 98,720人 (- 43) ・世帯 / 46,302世帯 (+ 26)
- ・男性 / 47,331人 (+ 4) ・面積 / 448.15km²
- ・女性 / 51,389人 (- 47)

鹿屋市広報

- 市ホームページ
- 市公式フェイスブック
- 市公式LINE
- 市総合アプリ「かのやライフ」
- 市政インフォメーション FMかのや (77.2MHz) 平日 8:05 ~ & 16:05 ~
- かのやファン倶楽部
- マチイロ (広報誌閲覧アプリ)